

～海外進出企業向け 3 in 1 医療サポート～  
**ヘルスケアプログラム**



PRESTIGE INTERNATIONAL

【販売会社：株式会社プレミア・インシュアランスパートナーズ】

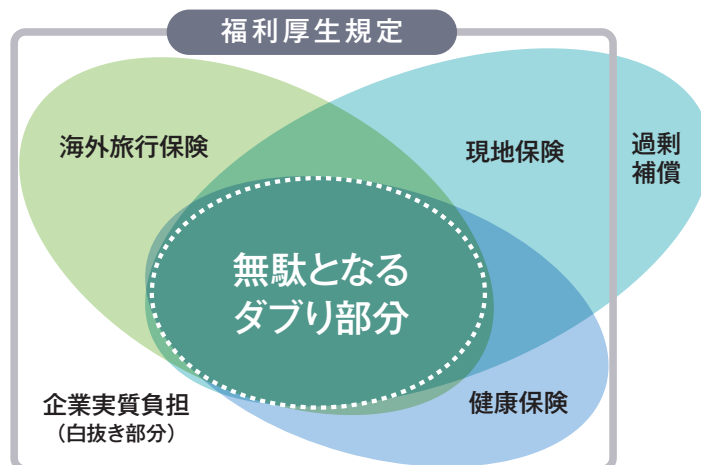
# お困りではないでしょうか？

海外進出企業の医療にかかる福利厚生体制は、医療費補償に関して下記各種保険等の単一もしくは複数利用が一般的となっており、それぞれ効果を上げている一方で、海外駐在員にとっての利便性や補償の不足、関係部署の事務作業の負担など様々な問題を内包しているのが実情です。

## 一般的な福利厚生体制

企業は福利厚生規定を充足させるために、様々な保険やサービスを手当てしている。

しかしながら、補償範囲が不足していたり、過剰であったりするケースが散見される。



## 医療費補償に関する各種保険等

|                                                       |       |                             |                             |                                                            |
|-------------------------------------------------------|-------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>海外旅行保険</b><br>日本人向けの利便性の高いサービス（日本語サービスなど）<br>メリット  | デメリット | 補償範囲が限定されている（既往症、歯科疾病等は対象外） | 補償対象外の傷病はキャッシュレスサービスが利用できない | 海外駐在員向け保険料は近年高騰傾向                                          |
| <b>現地医療保険</b><br>補償内容が手厚い（補償の範囲、補償額）<br>メリット          | デメリット | 保険料が高額                      | 利便性の高いサービスにかける              |                                                            |
| <b>国内健康保険</b><br>補償範囲が広い（海外旅行保険の対象外相当分も適用）<br>メリット    | デメリット | 請求書類の取付が困難                  | 付帯サービスは無い                   | 給付手続きに関わる関係者に事務負担が発生                                       |
| <b>企業実費負担</b><br>補償範囲の基準が自由に設計できるため、柔軟な対応ができる<br>メリット | デメリット | 海外医療費の正確な審査が困難              | 精算に関わる関係者に事務負担が発生           | 昨今の海外医療費高騰に比例して負担が増加傾向<br>事後対応となるため、負担総額の見通しを立てづらい（予算化が困難） |

上記を複数利用していても、これらを有効活用できていない為、

## 必要以上の「医療コスト」、「事務コスト」が発生！

# ～海外進出企業向け 3 in 1 医療サポート～ ヘルスケアプログラム

## ヘルスケアプログラムのコンセプト

### 福利厚生規定

健康保険上乗せ補償

健康保険

福利厚生規定や人事施策に合わせ  
企業が補償・サービス内容を決める事が可能。

企業は本プログラムのみで  
海外の医療費に関する管理を完結させることが可能。

従来には無い医療費支援ツールとして、  
企業の海外における福利厚生をサポート。

## ヘルスケアプログラムの仕組み

健康保険、上乗せ補償、サービスにて、  
海外駐在員、人事担当者、企業を多方面からバックアップ!

### 海外駐在員の安全・安心をバックアップ

#### 1 健康保険

国内健康保険を最優先利用

#### 2 上乗せ補償

健康保険対象外を  
上乗せ補償でカバー



#### 3 サービス

保険請求等に関する  
事務手続きを一括代行  
人事担当者の負担を  
軽減するサービス

海外駐在員を現地でサポート  
海外駐在員の不便を  
解消するサービス

### 海外医療費・療養費削減イメージ

まずは総医療費を  
健康保険へ

健康保険より  
対象額支給

健康保険の超過分を  
上乗せ補償でカバー

総医療費

健康保険超過分

健康保険対象外  
(3割)

健康保険対象額  
(7割)

2  
健康保険  
上乗せ補償  
対象額

海外駐在員  
負担額

健康保険対象外分(健  
保対象の3割)を海外  
駐在員が負担すると  
いう設計が可能

※図の割合はあくまでイメージです。

3 相談～手配～受診～精算までトータルサポートが可能です。

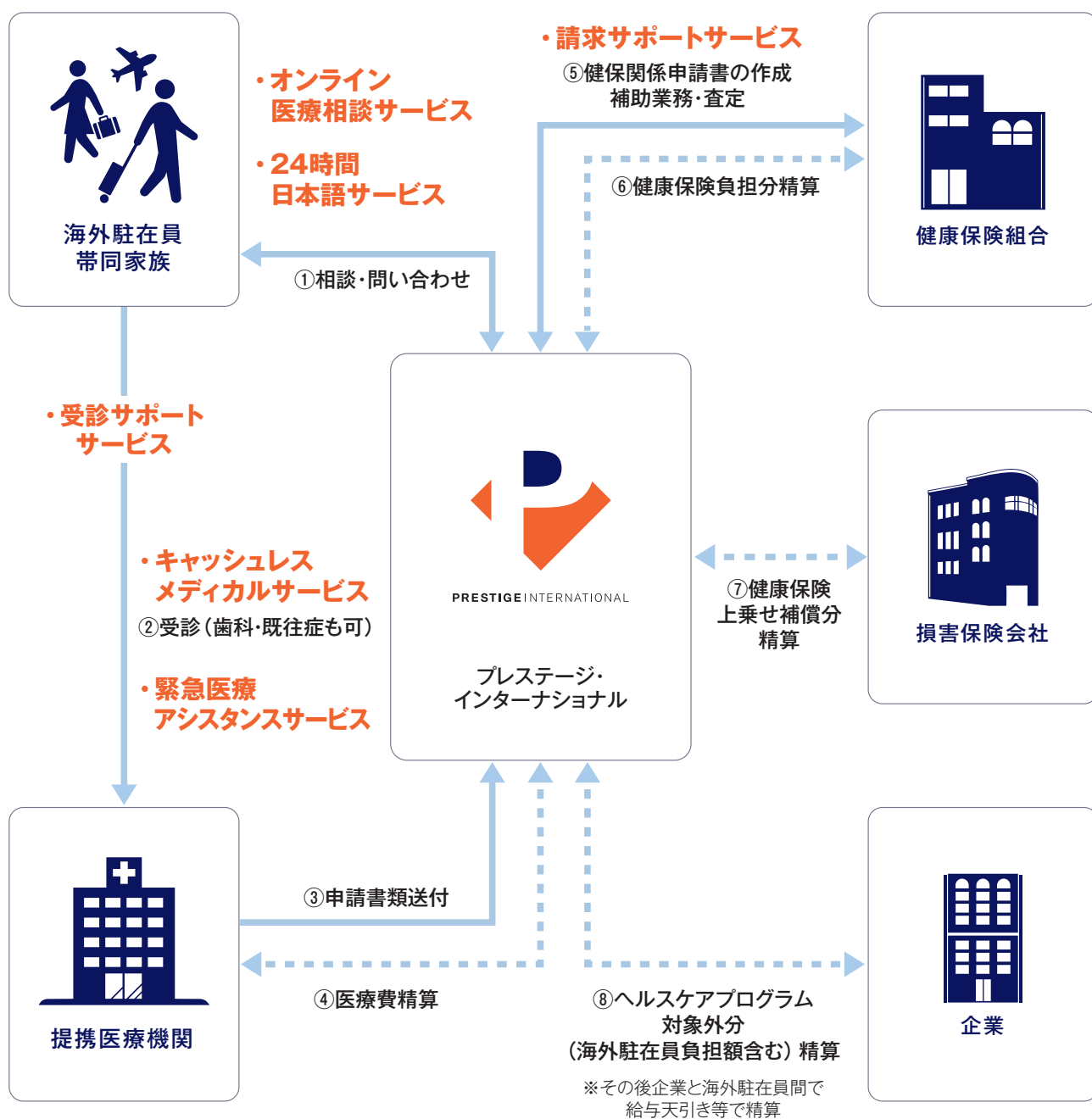
※健康保険組合を活用せず、全額を健康保険上乗せ補償対象とし、健康保険対象額を海外駐在員負担とすることも可能です。

# ヘルスケアプログラムとは

弊社提携医療機関でのキャッシュレス受診から海外医療費の精算手続きの一括代行まで、海外駐在員と帯同家族の海外での医療に関する各種サポートをワンストップで提供するサービスです。



## ヘルスケアプログラムの概要



## Service 1



# オンライン医療相談サービス

- テレビ電話やチャットを使って日本人医師にオンラインでの医療相談ができるサービスです。体調についてのお悩み、健康に関する相談に対して、医師が丁寧にお答えします。（※診断・治療・処方はいりません）

テレビ  
電話



チャット  
相談



TV電話（要予約）による  
丁寧な問診



朝9時から夜11時まで  
（日本時間）  
医師による対応



ご自宅で待ち時間なく  
医師に相談



ちょっとした不安でも  
気軽に相談

相談科目 内科、小児科、産婦人科、精神科、眼科、整形外科、外科、がん診療科、皮膚科、耳鼻科、泌尿器科

### サービス概要

- 気軽に日本人医師に相談可能な環境となることで、海外駐在員の利便性／安心感が向上、健康不安やメンタル不調の改善に繋がると共に重症化の抑制に貢献
- 受診の必要性に関するアドバイスも可能なため、軽度な症状の通院頻度及び全体的な医療費負担の軽減に繋げることが可能
- ハードシブエリア等で適切な医療サービスを受ける事が難しい場合、医療環境の改善に繋げることが可能

## Service 2



# 24時間日本語サービス

- 企業毎に専用のホットラインが設置されます。
- オペレーターが海外駐在員、帯同家族のご相談に24時間365日、日本語で対応。

これは健康保険で対象となる費用なのだろうか？

近くに日本語が話せる医者はいないかしら？

### 信頼の各国拠点ネットワーク



## Service 3



# 受診サポートサービス

- 全世界で安心して受診いただくために、3種類のサービスをご用意しております。
- 「外国の医師や看護師と言葉が通じない」、「病院がどこにあるかわからない」、「病院のシステムが日本と違うため、スムーズに診察・検診が進まない」など不安を解消するために受診サポートサービスをご利用ください。



[サービス対応地域]

- ◆院内サポートサービス
- ◆通訳同行サービス
- ◆遠隔医療通訳サービス (全世界)

## ◆ 院内サポートサービス JHD

医療機関にスタッフが常駐。

予約手配から通訳、院内アテンドまで行います。



海外駐在員  
帯同家族

医療機関

JHD  
ジャパニーズ  
ヘルプデスク

診 察  
検 査  
処 方 薬

### フロー

- ①海外駐在員・帯同家族からJHDへ受診前に連絡
- ②JHDにて医療機関へ診察予約手配
- ③海外駐在員・帯同家族へ手配完了のご連絡
- ④来院／院内アテンド（通訳、立替払い、検査/処方薬/再診の予約の手配、入退院の際の手続き、書類作成などをサポート）

## ◆ 通訳同行サービス

近隣にて待ち合わせ、医療機関へ同行。通訳、アテンドを行います。

## ◆ 遠隔医療通訳サービス

電話による医療通訳。診察室からお電話をいただき通訳を行います。  
(予約不要・24時間・全世界対応) ※試験運用中

## Service 4



# キャッシュレスメディカルサービス

- 全世界の提携医療機関にて、歯科・既往症含め、キャッシュレスメディカルサービスを利用できます。
- 専用の会員カードを受付に提示するだけでキャッシュレス受診が可能。



会員カード

海外駐在員等

キャッシュレス受診

提携医療機関

医療費精算

プレステージ・インターナショナル

子供が急に熱を出しちゃった。  
手持ちの現金がないし、  
クレジットカードも使えなかつ  
たらどうしよう。

海外旅行保険対象外（歯科・既  
往症）だと毎回受診するたび  
に立て替えないといけないし  
面倒だよなあ...

- 多数の日系医療機関と提携
- 企業の海外駐在員の分布や利便性を考慮し、医療機関を選定
- 米国においては現地医療ネットワーク専門機関との提携により、全米90,000件以上の医療機関と1,440,000名以上の医師で、キャッシュレス診療が可能
- 提携関係のない医療機関に対しても、企業のニーズに合わせて提携交渉が可能
- 提携不可の医療機関に対しても、案件ベースでキャッシュレス交渉可能

## 緊急医療アシスタンスサービス

- ヘルスケアプログラムでの日々の医療サポートの延長線上で入院されたり、重篤になった海外駐在員等を日本の病院や医療レベルの高い近隣国に転院するサポートを提供致します。
- また、現地でお亡くなりになられた場合の、遺体の搬送や処置等も行います。

### サービスメニュー

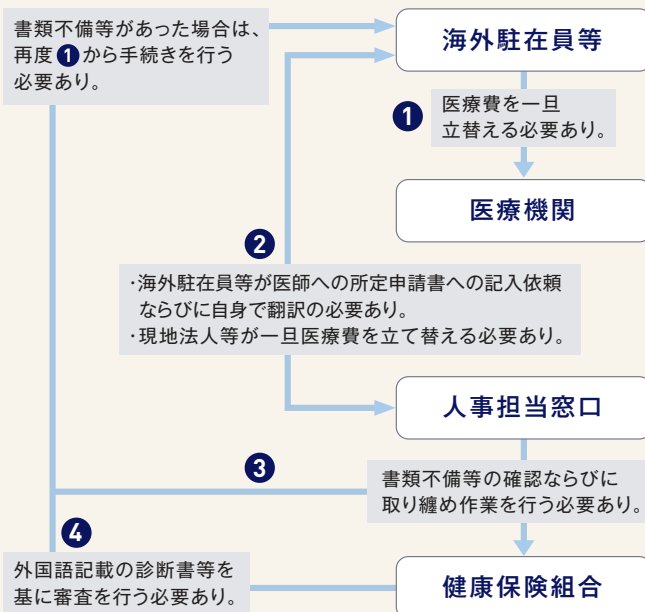
- |                                    |                        |
|------------------------------------|------------------------|
| ①現地担当医への治療状況の把握、企業への容体等に関する報告      | ③日本人医師の派遣（必要に応じて）      |
| ②日本人医療従事者のエスコートによる緊急患者移送（日本への帰国含む） | ④通訳者やアテンダの派遣           |
|                                    | ⑤日本国内を含む移送先での受入医療機関の手配 |



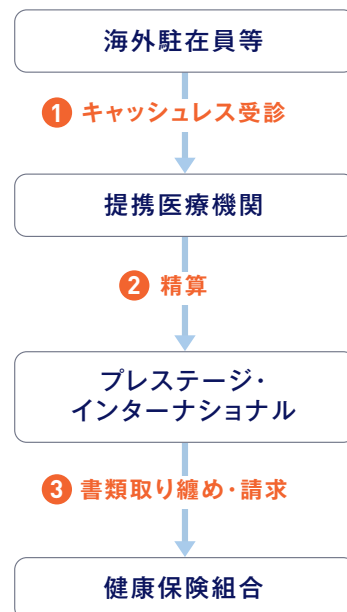
## 請求サポートサービス

- 健康保険の請求手続きを一括代行し、関係者の労力・給付までの時間が大幅に減少。
- 必要に応じて海外医療機関と医療費交渉を行うことで適正な給付金支払いが可能。

### 従来の健康保険請求スキーム



### ヘルスケアプログラム





## POINT

### 専用の会員ツールをご用意しております。



#### 会員専用サイト

サービスサイト「ヘルスケアプログラム」を開設し、どなたでもご利用頂けるよう、世界の医療機関情報や医療事情等を掲載しております。  
また会員企業様向けには、本プログラムのマニュアルや申請書類のダウンロード、医療明細の確認が可能な専用ページを提供しております。



#### メールマガジン

海外医療に関する情報を毎月配信



#### チェックノート

海外赴任出発までのスケジュールチェックノートを無料で海外駐在員人数配布



#### マニュアル

- マニュアルは、会員専用サイトで閲覧できます。  
詳しくはサンプルページをご覧ください。

#### ▼サンプルページURL

<https://www.hcpg.jp/login.php>

ID: pi1@prestigein.com パスワード: pihcp



#### ご利用状況のご案内

- 国別の医療情報（医療費総額／損保負担総額など）がご確認いただけます。
- 前年度の利用状況に元に、次年度のアドバイス等もいたします。

## ヘルスケアプログラム導入までのプロセス

### STEP 1

#### プログラム概要のご説明

プログラムのご説明と、海外医療における現状の体制やお困りごとを確認させていただきます。

### STEP 2

#### お見積りのご提示

STEP1にてご確認させていただいた情報を踏まえて、お見積をご提示させていただきます。

### STEP 3

#### プログラム採用のご検討・社内(国内外)ご調整等

現地法人や海外駐在員へのヒアリングや調整、具体的な内容を検討いただき、必要に応じて福利厚生規定の見直しを実施いただきます。

### STEP 4

#### 健康保険組合・労働組合等との協議

スキームに関し健康保険組合との調整や、必要に応じて労働組合への説明、海外駐在員負担額の調整などを実施いただきます。

### STEP 5

#### プログラム要件確定

各種調整や協議を踏まえて、スキームなどのプログラム要件並びに最終見積の確定をいたします。

### STEP 6

#### プログラム導入の決定・導入準備開始

導入を正式に決定いただき、ツールやインフラの構築を始めます。

### STEP 7

#### プログラム運用スタート

※プログラム導入を決定頂いてから(STEP6)、プログラムスタート(STEP7)まで3ヶ月程かかります。



# 導入効果

## CASE 1 医療費補償制度の統一化

| 導入前                                                                                                                                                                                                        | 導入後                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>●各国別々の保険をかけているので、一元管理が出来ず、海外拠点毎の独自運用になっておりました。</li><li>●国内健康保険の請求手続きが煩雑なので、有効活用できていませんでした。</li><li>●保険対象外を海外駐在員負担にしていたため、医療費が高い国では負担額も高くなってしまい、不公平感がありました。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●企業全体での医療費補償制度の統一化が可能になり、管理機能の強化が実現しました。</li><li>●請求手続きを一括代行することで国内健康保険の有効活用ができるようになりました。</li><li>●海外駐在員負担を国内と同等の健康保険対象の3割に設定することが可能となり、全世界統一の負担額を設けることができました。</li></ul> |

## CASE 2 医療費の予算化

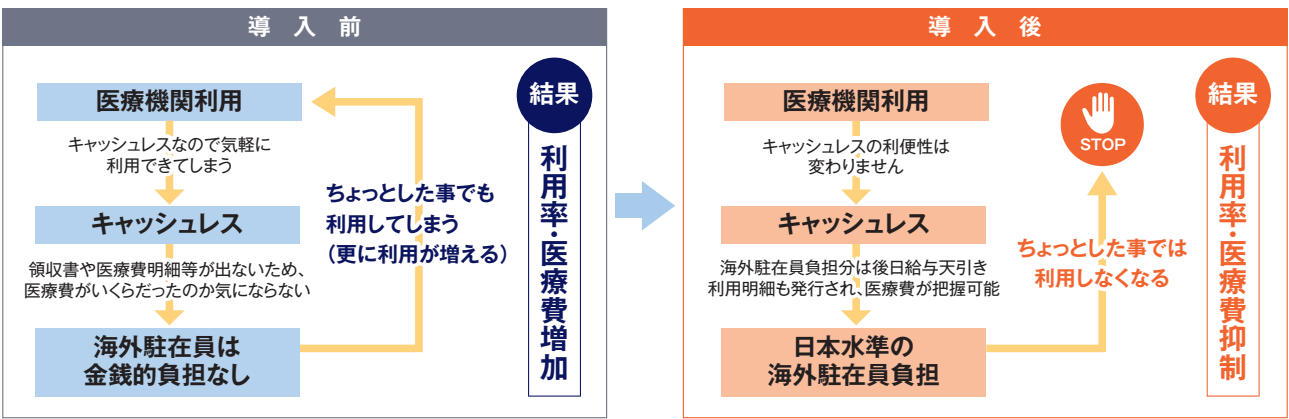
| 導入前                                                                                              | 導入後                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>●医療費の高騰に比例して、企業負担が増加傾向。事後対応となるため、負担総額の見通しが困難でした。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●これまで保険化できなかった出産費用等も補償に組み込むことにより実費負担が減り、医療費の予算化が可能になりました。</li></ul> |

## CASE 3 海外駐在員の利便性向上

| 導入前                                                                                                                   | 導入後                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>●毎回海外駐在員が立て替えなければならない負担が大きく、また地域によっては医療機関において無保険の場合、受診を断られるケースもありました。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>●会員カード1枚で、医科・歯科ともにキャッシュレス受診が可能になり、立替負担が軽減しました。</li><li>●国内健康保険の請求手続きを一括代行してくれるため、煩雑だった申請手続きの負担が軽減されました。</li></ul> |

## CASE 4 医療コストの削減

### ①日本水準の海外駐在員負担を設定することで、医療費の抑制が可能



### ②目に見えない人事担当者の人的・時間的負担を含めたトータルコストの削減

海外旅行保険などでは対象外となり実費負担していた医療費についても、補償に組み込むことで予算化が可能になります。

| 従来の企業負担状況                     | 導入後                                           |
|-------------------------------|-----------------------------------------------|
| 健康保険料                         | 健康保険料                                         |
| 医療費実費負担額                      | 医療費実費負担額                                      |
| 海外旅行保険料                       | ヘルスケアプログラム会員費<br>(健康保険上乗せ補償料+サービス料)           |
| 現地医療保険料                       |                                               |
| 海外駐在員・人事担当窓口・健康保険組合等の人的、時間的負担 | 健康保険の有効活用による<br>保険複数加入の解消による<br>一括アウトソーシングによる |

導入効果

コスト削減分

### ③医療費削減に向けた取り組み

ご利用状況のご案内(P.7参照)を通して医療費削減に向けた施策をご提案いたします。

# 医療費支援ツールの比較

|         |                  | 海外<br>旅行保険               | 現地<br>医療保険              | 国内<br>健康保険                | 医療費<br>実費支給               | 本プログラム                  |
|---------|------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 補償に関して  | 補償料<br>(保険料)     | ▲<br>年々増加傾向              | ▲<br>年々増加傾向<br>(特に米国)   | ◎<br>赴任期間中も<br>継続加入       | ▲<br>予算化が<br>難しい          | ◎<br>健保有効活用により<br>低減可能  |
|         | 補償範囲             | ▲<br>歯科・既往症等は<br>対象外     | ▲<br>広範囲だが<br>過剰な面も     | ○<br>歯科において<br>海外基準との乖離大  | ◎<br>企業にて<br>任意設定可能       | ◎<br>予防接種・健診以外<br>は補償可能 |
|         | 補償額              | ◎<br>高額な医療費<br>にも対応      | ◎<br>現地医療費<br>水準に適應     | ▲<br>内外価格差は<br>対象外        | ▲<br>高額医療リスク              | ◎<br>高額な医療費<br>にも対応     |
|         | 人事施策・規定<br>への適應性 | ×<br>対応不可                | ×<br>対応不可               | ×<br>対応不可                 | ◎<br>規定通りに<br>設定が可能       | ◎<br>規定の見直し<br>に対応      |
| 利便性     | キャッシュ<br>レス受診    | ▲<br>歯科・既往症等は<br>不可      | ◎<br>補償内容に<br>合わせて対応    | ×<br>医療費の<br>立替え要         | ×<br>医療費の<br>立替え要         | ◎<br>歯科・既往症等<br>も可能     |
|         | 請求<br>手続き        | ▲<br>歯科・既往症等は<br>不可      | ▲<br>海外駐在員負担分は<br>別途精算要 | ×<br>事務手間発生               | ×<br>事務手間発生               | ◎<br>一括代行可能             |
| 医療費抑制施策 | 海外駐在員<br>負担設定    | ×<br>対応不可                | ▲<br>保険会社等により異なる        | ◎<br>国内と同等の<br>運用が可能      | ◎<br>国内と同等の<br>運用が可能      | ◎<br>国内と同等の<br>運用が可能    |
|         | 医療相談             | ▲<br>保険会社によっては<br>サービス有り | ×<br>対応不可               | ▲<br>健康保険組合によっては<br>窓口を開設 | ▲<br>健康保険組合によっては<br>窓口を開設 | ◎<br>自動付帯               |
| 制度統一化   |                  | ×<br>補償範囲が<br>不十分        | ×<br>対応不可               | ▲<br>先進国では内外<br>価格差発生     | ◎<br>対応可能                 | ◎<br>全世界<br>統一可能        |

海外駐在員向け

●産業医サポートサービス

海外駐在員の赴任前から赴任中における健康管理や日常並びに緊急時の医療面の対応まで、企業にとって必要とされる医療関連のサポートを全て網羅したパッケージプログラムです。

企業の産業医的位置付けで、業務支援を行います。または企業の産業医の業務支援を行います。

ヘルスケアプログラム



産業医サポートサービス

- ①海外医療に関する各種相談&情報提供
- ②海外駐在員選出時サポート
- ③海外駐在員への個別ヒアリング&アドバイス
- ④海外健診結果の日本基準への変換
- ⑤メンタルヘルス管理

本サービスを追加することで、

**赴任前、未病・予防から海外での治療、有事の際の緊急搬送まで一括管理が可能**

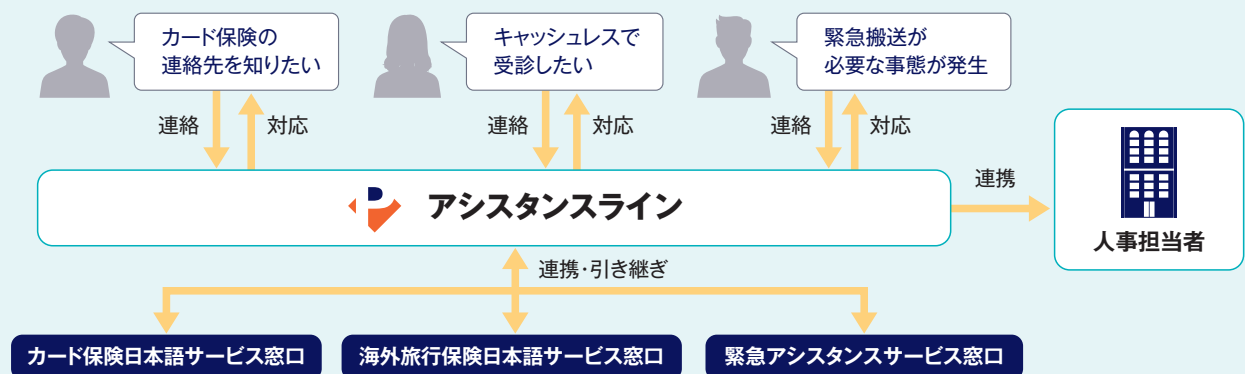
●国内健康診断・予防接種サポートサービス

赴任前や一時帰国中の国内での予防接種、健康診断のキャッシュレス受診、精算サポートサービスを提供いたします。 ※提供準備中

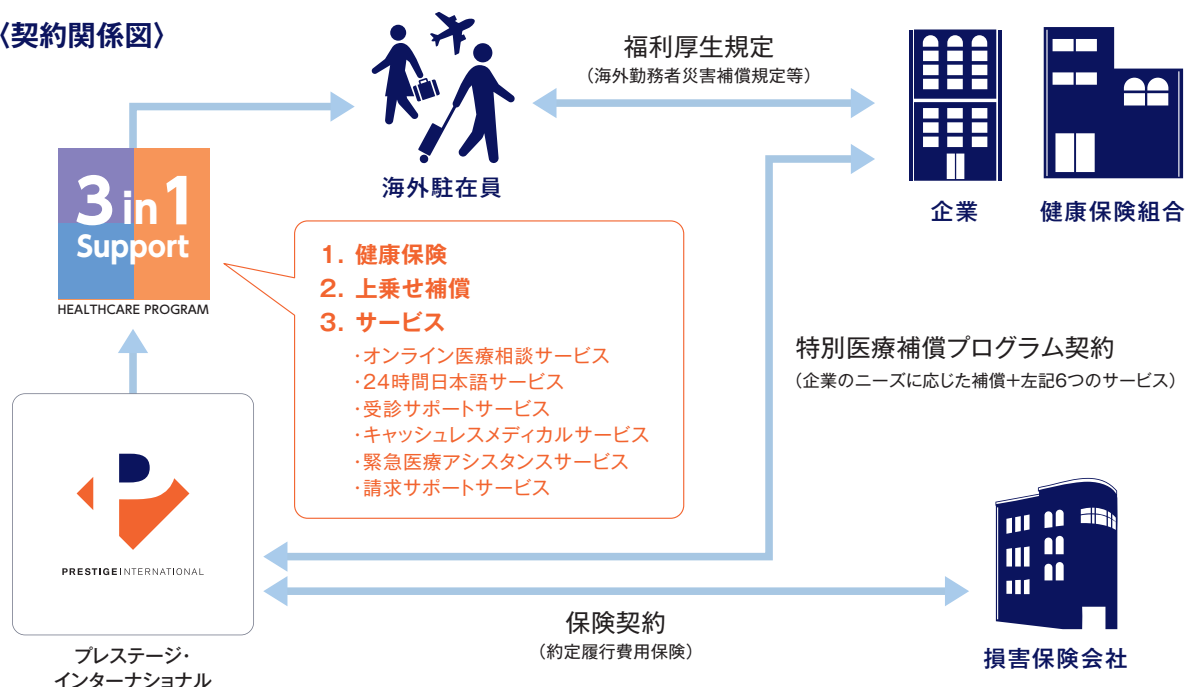
海外出張者向け

●アシスタンスライン

海外出張者からの連絡先として、企業様専用24時間日本語サービスラインを設置。海外からの連絡先を一元化し、適宜必要とされる医療アドバイス、通訳同行サービス、キャッシュレスメディカルサービスなどの提供または関係機関への連携を行います。



〈契約関係図〉



当社は世界主要都市に拠点を構え、全世界をカバーする医療機関ネットワークを構築。  
海外旅行保険のアシスタンスプロバイダーとして長年培ったノウハウと、海外における  
医療機関等とのネットワークを最大限に活用し、24時間日本語サービス、提携医療機関  
でのキャッシュレスメディカルサービス等をご提供しております。



## 株式会社 プレステージ・インターナショナル ※東証一部上場

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-4-1  
TEL: 03-5213-0295

E-MAIL: [kaigaiiryo@prestigein.com](mailto:kaigaiiryo@prestigein.com)

会社HP: <http://www.prestigein.com/>

<http://pip-pi.co.jp/>

サービスサイト: <https://hcpg.jp/>

※海外からのお問い合わせは、お手数  
ですが当社HPへアクセスの上、  
最寄りの当社海外拠点までご連  
絡くださいませ。